



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2011. 第51号



いつもお読みくださってありがとうございます。府中市の地元の塗装店 三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

2011年がいよいよ始まりましたね。今年もどうぞ、三商事をよろしくお願い致します。

今年はどんな年になるのでしょうか・・・？ どんなお客様に巡り合うのでしょうか・・・？ とてもたのしみでもありませんね。

■ OO無しのお正月・・・

年が明けて、皆様、どんなお正月を迎えましたでしょうか・・・

私は今年のお正月は、いままで迎えた中で、一番「とても静かな」お正月となりました。

先月、体調を崩してしまったのもありまして、「できるだけ安静に」ということでしたので、

「どこにも出かけなくて」

「お酒も飲まず」

「食べ物も気をつけて・・・」

と、いう感じでした。特にお酒を飲めなかったのが・・・ちょっと、というか、かなりさびしい・・・。



正直、毎年お正月は、その日は出掛ける予定がないと分かれば、朝からビールを・・・なんていうこともしていましたし・・・。

で、またお昼とかに飲んだりして、夕飯でも・・・なんていう感じでしたが、今年はさすがにできなかったです。お薬もいただいて服用していますしね・・・。

今回、大腸の具合が悪くて、そんなお正月を迎えることになってしまいました。

日ごろの行い・・・というか、食べ過ぎ？ 飲み過ぎ？ 原因は今一つ明らかではありませんが、自己管理、できてなかったですね・・・。

今は症状も落ち着いて、食べ物も普通に食べていますし(・・・でも、量は減りました・・・)普通の生活です。

ただ、お酒はダメですね・・・。飲めるようになるにはもう少し時間がかかりそう・・・。



“ビール党”な私ですが・・・。今後は控えめになることでしょうか・・・。

■「外壁のお色の選び方」って・・・。

外壁塗装の時、みなさん迷われるのが

「外壁のお色」です。

「やっぱり、塗り替えるのなら、ガラッと違ったものに・・・」

「あまり、変えてしまうのもどうかと思うので、前と同じような感じで・・・」

みなさん、選び方は様々ですね。

大概、お色はカタログの中から、



選んでいただくわけですが、この「3cm×2cmのマスの中のお色」と、実際に「外壁に塗った場合のお色」は同じ色でも印象が違うものになってきます。

ですので、選ぶ際には気をつけた方がいいです。

印象の違いができるだけないようにと、この見本より大きく見える、その色の塗り板(希望の色をA4サイズの板に塗ったもの。メーカーさんに依頼して作ってもらいます)をお見せしたり、1m四方の板に塗って見せることもできます。

(ただし、これはご希望の色が当店にストックされている場合のみです)

それと、

当店が塗り替えたお宅をご覧になられると、
「小さなマスの中のお色が、家の外壁になった場合、どのようになるか」

ということもわかります。「家としての印象」でイメージできますね。ご案内もさせていただきます。



お世話になっております。
長坂利昭です。
今号もお読み頂きありがとうございます。

2011年も始まりました。
皆様にとって良い年になりますよう、お祈り申し上げます。

私は、おかげ様で体調を崩すこともなく、新年を迎えることが出来ました。かと言って、特別なことをすることなく、平凡なお正月でした・・・。

生まれてこのかた、稲城市矢野口以外に住んだことがない私は、毎年の初詣は、近所の穴澤天神社に行っています。

京王よみうりランド駅から高架沿いに少し調布方面へいった山の中にある神社です。

湧き水で有名にもなりましたので、ご存知の方もいらっしゃるのでは？

お参りの後、必ずすること・・・。皆さんも引きますよね。「おみくじ！」

2011年、長坂利昭の運勢は・・・

・・・・小吉！

なんだか中途半端な運勢で、話は広がりませんが、浮かれず、落ち込まず、普通に暮らさなさいというお告げだと思い、帰ってまいりました。(ちなみにくじ運のないうちの妻は・・・大吉！おめでとう！！)

■気になったことございませんか？

ところで、この穴澤天神社の近くにあるよみうりランド。山の上にあるので、府中など遠くからでも良く見えますね。観覧車やゴンドラ、ジェットコースターなど・・・。

そんな中でも一番目立つのが、これではないでしょうか？



思い出されました？
きっと目にしたことがあるかと思います。そうです、この塔みたいなモノ。
元々は、ある目的のために建てられた建物らしいのですが…。

ということで、突然ですが問題です！
この塔のような建物。元々は何だったのでしょうか？
ヒント…札幌や長野のオリンピックで日本選手が好成績を収めたあの競技の施設です。

正解は・・・次のページで！
では、正解の発表です。

正解は、「スキーのジャンプ台」です！
今は滑り降りる部分が解体されているので、あまり想像が出来ませんね。

株よみうりランド発行の本「よみうりランドレジャーとともに40年」によると、よみうりランド開園の前年、昭和38年に「オールシーズンの人工スキー場」として「読売スキーセンター」がオープン。翌年、このスキー場に併設される形でジャンプ台が完成し、「読売シャンツェ」と名付けられたそうです。このジャンプ台で、札幌オリンピックを目指す、日本代表選手が競技や練習をしたこともあったとか。しかし昭和47年、走路面の塩ビ製ブラシが耐えられず、閉鎖になったそうです。

現在、この辺りは読売ジャイアンツの室内練習場や球場になり、この建物も柵がされており、立ち入りは不可。入口のドアには「KDDI」と書かれた看板があるので、アンテナとして再利用されているのかも。

私が記憶にある30年ほどでも、だいぶ景色が変わりました。時の流れを感じます。

■見上げてください。

話しは変わり、塗装工事のお話です。
今回は屋根(コロニアル)の塗り替えのタイミングを知る、一つの要素をご案内します。



こちらは、あるお宅の北側の屋根です。
茶色く見えるのは、コケやカビで、遠くから眺めても全体的に茶

色く見えます。

北側は日当たりが悪く、雨などの水分が蒸発しにくいので、コケやカビにとっては居心地の良い場所になりますが、放っておくと屋根の素材自体に悪影響を与えます。



続いて、同じお宅の南側の屋根です。
コケやカビは見られませんが、色があせてパサパサという感じになっています。

南側は日当たりが良いため、熱と光でかなりのダメージを受けることとなります。

写真の様な状況では、すでに塗料の劣化が起きており、塗り替えが必要な時期です。

屋根材は過酷な状況下で使用されるので、そもそも丈夫に作られています。これはあくまで表面の塗料がしっかりとしている場合の話。塗料が劣化し、素材を守れなくなると、傷み具合がより進行します。最悪は全て張り替えるなんて事にも…。屋根の素材を長持ちさせるためにも、塗り替えで素材を守ってあげてください。

日常生活で屋根を見上げることは少ないと思いますが、たまにご自宅やご近所の屋根をご覧になってみてください。意外と色々な「表情」をしていますよ。

発行者 上神谷裕治 (かみかべやゆうじ)

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

